

(お知らせ)

令和 2 年 8 月 7 日
防 衛 省

我が国自衛官の国連活動支援局への派遣について

- 1 防衛省・自衛隊は、本年8月8日から、川崎^{かわさきまちこ}真知子2等陸佐（現陸上幕僚監部運用支援・訓練部運用支援課所属）を、国連活動支援局特別活動部パートナーシップ支援課に派遣することとしました（国連本部（米国ニューヨーク市所在）にて勤務）。
 - 2 川崎2佐は、国連活動支援局特別活動部パートナーシップ支援課において、国連三角パートナーシップ・プロジェクト（UNTPP：the United Nations Triangular Partnership Project）（※1）の枠組みで実施されている、国連野外衛生救護補助員コース（UNFMAC：the United Nations Field Medical Assistant Course）（※2）等に関する業務に携わります。
 - 3 UNFMACは、昨年、国連がUNTPPの枠組みを衛生分野にも広げたことから開始されたコースです。これを受け、防衛省・自衛隊は、近年の国連PKOにおける課題である衛生能力の強化に主導的に貢献できるものと考え、昨年実施された試行訓練に陸上自衛官2名を教官として派遣しました。今般の川崎2佐の派遣は、このような防衛省・自衛隊による国連PKOの衛生能力の強化へのさらなる貢献につながるものです。
 - 4 防衛省・自衛隊としては、今後とも国際社会の平和と安定に貢献するため、このような職員の派遣も含め、国連PKOにおける課題解決のため、主体的かつ積極的に取り組んでまいります。
- ※1 国連PKOを支えるために2015年に立ち上げられた、国連、支援国、要員派遣国の三者が互いに協力し、PKOに派遣される要員の訓練、必要な装備品の提供を行う協力枠組み。
- ※2 衛生科隊員又は医療従事者が専門的な治療を行う前に活動地域で応急処置を実施できる国連PKO要員の育成を目的としたコース。